

シンポジウム 明末清初 都市と美術

場 所： 東京大学東洋文化研究所
三階 第一会議室

日 時： 11月13日(月) 13:00～18:00

- 1:00～1:30 大木康 (東京大学東洋文化研究所)
「蘇州文人と虎丘」
- 1:30～2:00 上原究一 (山梨大学)
「明末の小説・戯曲挿画の製作工程について」
- 2:15～2:45 尾川明穂 (五島美術館)
「董其昌の書画論」
- 2:45～3:15 陳韻如 (台北故宮博物院)
「非人間—呉彬の芸術手法」
- 3:15～3:45 塚本麿充 (東京大学東洋文化研究所)
「藍瑛と龔賢」
- 4:00～4:30 ステファン・アリー (フリーア・ギャラリー)
「王方宇コレクションの八大山人」
- 4:30～5:00 野地耕一郎 (泉屋博古館分館長)
「生きつづける明末清初絵画—
近代日本における受容をめぐって」

協賛：泉屋博古館

当シンポジウムは以下の展覧会と連携しています。

あこがれの明清絵画
～日本が愛した中国絵画の名品たち～
静嘉堂文庫美術館
2017年10月29日～12月17日

典雅と奇想—明末清初、中国絵画の名品展
泉屋博古館東京分館
2017年11月3日～12月10日

